

本名・浮ヶ谷克美。昭和 25 年 12 月 10 日、東京都足立区で誕生した。東京都立科学工業高校を卒業。その前年昭和 43 年 3 月、五代目春風亭柳朝に入門して朝太郎の芸名で前座となった。5 年後の昭和 49 年 9 月、春風亭一朝と改名して二ツ目になり、昭和 57 年 12 月、一朝の芸名のまま真打に昇進している。師匠の柳朝は、八代目林家正蔵（のち彦六）の総領弟子であり、その柳朝の一番弟子が一朝である。昭和 5 年に没した三遊一朝は、名人圓朝の直門で、正本芝居噺などを八代目正蔵に伝えている。亭号は変わっても、この功労者の芸名を継ぐことができたのは師匠以来二代にわたる総領弟子の特権である。

一朝は、早くから里神楽の稽古に励み、鳴物のうち特に笛に才能を発揮した。仲間が「笛吹童子」という仇名をつけたのは、一朝の天才的な笛の才能を認めたからなのであった。一朝の妻は東京歌舞伎の脇役として人気のあった片岡市蔵の娘である。若い時の一朝が歌舞伎の鳴物でアルバイトをしていたのは、義父・片市の陰の力によるものだった。しかし、一朝は歌舞伎の修業も無駄にはしていない。現在、若手噺家らによって演じられる鹿芝居でも一朝は、役者・演出家・鳴物師として大活躍している。今は亡き彦六や柳朝も、圓朝系の芝居噺や鹿芝居が同門の若手によって継承されてゆくことをどんなに喜んでいることだろうか。

人情噺系のお家芸のほか、滑稽噺に本領を発揮するのは師匠の影響であろうか。出囃子は「あやめ浴衣」。

昭和 59 年、国立演芸場花形演芸大賞受賞。

昭和 60 年、芸術祭賞を若手花形演芸会にて受賞。

平成元年、NHK ドラマ「晴れのちカミナリ」で噺家役でレギュラー出演。

現在、NHK 時代劇ドラマ江戸ことば指導